

# インクルーシブの窓

令和7年3月 富山県教育委員会 教育みらい室 特別支援教育課



学びと支援をつなぎ、子供の笑顔をつなぎましょう！



先日、市町村で行われている特別支援教育コーディネーター研修会に参加する機会がありました。

見通しをもった年間研修計画のもと、事前にリーダー会を開いて研修内容を検討したり、専門的な立場の方の助言を得たりするなど、様々な運営の工夫が行われていました。

そして、新年度が間近な今、「子供一人一人の学びや適切な支援を切れ目なく行うために、私たちができることを考えていこう！」という先生方の熱意に満ちた研修会でした。

今号では、そうした先生方の一助となることを願って、富山県教育委員会が発行している2つのパンフレットを紹介します。いずれも、富山県や富山県総合教育センターのホームページからダウンロードすることができます。ぜひ、ご活用ください。

## 『わくわく・きときと接続ガイドⅡ』（発行：令和7年1月）



「子供の学びは連続しており、一人一人の資質・能力を育むことも同じです。」

「幼児教育は、環境を通して行われます。(中略) 小学校教育では、学習と生活の場にふさわしい教室環境づくりが求められます。」

(※ パンフレットより)



## 『支援をつなぐ 笑顔をつなぐ』（改訂：令和6年4月）



「個別の教育支援計画は、学校（園）、家庭、地域、医療、福祉、保健、労働等の関係機関が連携して支援をするためのものです。」

「支援の内容や方法、効果を、進級・進学先に引き継ぎ、受け取った側は、支援に活用します。」

「支援の方向性について共通理解し、それぞれの専門性を活かして役割を分担し、それぞれができる支援をしていきましょう。」

(※ パンフレットより)

